

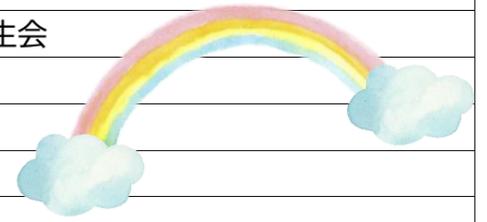
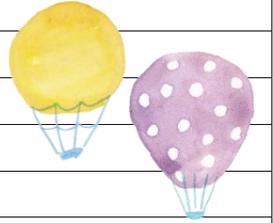
6がつ まきしまひいらぎえんだより

令和7年6月1日
園長 宇野 智子



◆行事予定◆

1	日	
2	月	
3	火	はみがき教室(ちきゅう・たいよう・ぎんが)
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	個人懇談会(土・日除く27日まで)
10	火	フレンドリー(ちきゅう・たいよう・ぎんが)
11	水	
12	木	サッカー教室(たいよう・ぎんが)
13	金	音楽教室(ちきゅう・たいよう・ぎんが)
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	誕生会
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	避難訓練
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	プール開始



「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」ために・・・

表題に掲げられているのは、宇治市の乳幼児期の教育・保育の基本理念です。先日研修会に参加した際のグループワークにおいて、上記の理念を育むために、いまの子どもたちにどんな力をつけていくべきかを話し合いました。参加者は、小学校の先生や療育機関の方を含み、保育・教育・療育と様々な視点で意見交換ができ、有意義な時間でした。その中にあった「心の土台」というワードに強く惹かれました。

人は、一人では生きてはいけません。相互に刺激を与えたり受けたりしながら、学んでいきます。0歳児の子が、大人だけでなく隣のおともだちの様子をしっかり見て取り、まねっ子をはじめするのは、よく見られる光景です。また、1歳児ともなると、「ごっこ遊び」が盛んになりますよね。これもまさしく、「ともに」の入り口です。最初は、「平行あそび」といって、一緒にその場において遊んではいるけど、それぞれが、やりたいことを楽しんでいるという状況から、次第に相手との「やりとり」が見られるようになります。2歳児のごっこ遊びは、言葉も豊かで、お母さんやお店の人になりきって遊ぶ姿に、思わずクスッと笑わせてもらえます。こうした遊びを重ねる中で、お友だちの存在を意識し、つながりが生じていくのが、幼児期です。チームで勝敗を競うゲームに、一喜一憂する年長さんの姿は、まさに成長の表れです。

人は人と接しながら生きていく中で、時には人を傷つけてしまったり、傷つけられたりしながらも、多くの楽しさや喜びを感じ、様々なことを学びます。この時、この学びを活かせるか、否かを左右するのが、いかに「心の土台」を形成できているかに尽きると思うのです。土台が軟弱であったり、歪であったりすると、ちょっとしたことにも、動揺し崩れてしまいます。そんな柔い土台に、何を重ねても、結局は「不安」が先行し、楽しむことができません。「心の土台」の構築をこの乳幼児期にしっかりやっておくことで、この先にある様々な困難や障壁に立ち向かって乗り越えようとする、たくましさや柔軟性を発揮できる人になるのだと考えます。

(宇野)

1歳児・2歳児クラスの保育参観の試行的実施を終えて・・・

1週間にわたり実施した保育参観でしたが、参加してくださった保護者の方から、「普段、どんな風に園で過ごしているのかがみられてよかった」「お友達と仲良く遊べているか気になっていたの、追いかけてっこをしているのを見て安心しました」「たくさんの先生に見守ってもらいながら、楽しんで遊んでいることがわかった」などのお声をいただき、子どもたちの「いつも」を観ていただく機会を設けたいという趣旨が届けられたことをうれしく思っています。

今後につきましては、お寄せいただいたお声を精査し、問題点を挙げ、検討していきたいと考えています。



「4歳児(たいよう組)さんが、大友 剛さんのマジックと音楽と絵本のコンサートに参加し楽しい時間を過ごしました」

姉妹園であるひいらぎこども園で行われた催しに参加させていただきました。子どもたちは、1時間に及ぶコンサートに全く集中を切らすことなく、最後まで楽しんでいました。普段からノリのいい子たちですが、大友さんの呼びかけに、満面の笑顔で応える姿がかわいかったです。大友さんは、「カラーモンスター」をはじめ、多くの絵本を翻訳されています。今回、紹介して下さった絵本の中に、素敵なお話がありました。早速購入して、他の学年にも共有したいと思います。

*『ぼくはびっくりマーク』: ひさかたチャイルド: エイミー・クラウス・ローゼンタール (著) トム・リヒテンヘルド (イラスト) 大友 剛 (翻訳)



今月の目標

- しずく 🐸 保育者との安定した関わりの中で、興味のあるものに触れたり、体を動かしたりして遊ぶ。
- うみ 🐸 保育者に見守られながら、水や泥の感触を味わって遊ぶ。
- そら 🐸 保育者の助けを借りながら、簡単な身の回りのことをしようとする。
🐸 水・砂・泥などの感触を味わいながら遊び、変化を楽しむ。
- ちきゅう 🐸 歯みがきの大切さや仕方を知り、自分でやってみようとする。
🐸 梅雨期の自然や水・砂・泥に触れ、遊ぶことを楽しむ。
- たいよう 🐸 梅雨期の自然事象や動植物に興味や関心をもつ。
🐸 水や泥の感触を全身で味わいながら、友達と一緒に試したり、発見したりして遊ぶことを楽しむ。
- ぎんが 🐸 友達との関わりを深め、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いに気付いたりする。
🐸 水・泥・泡などの不思議さや性質に気付きながら、友達と一緒に試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。



7月の主な行事予定

4日(金)～5日(土) ぎんが組お泊まり保育

今月の歌

- しずく 「かえるのがっしょう」「いとまき」
- うみ 「かえるの合唱」「かたつむり」
- そら 「ながぐつマーチ」「こぶたぬきつねこ」
- ちきゅう 「とけいのうた」「はをみがきましよう」
- たいよう 「ニャニユニョの天気予報」
「あめふりくまのこ」
- ぎんが 「にじ」「だから雨ふり」



ホームページからブログを見ることができます。

URL [http:// shingekai.jp](http://shingekai.jp)